

あそぼう！

<今月の聖句> 「主において常に喜びなさい」
フィリピの信徒への手紙4章4～7節

「あそぼう！」は「あそぶ」「あそんでいる」とは違うのではないかとあるキリスト教保育園の方が先日言われるのを聞いて、ハッとしました。「あそぼう！」は、子どもたちの心が自ら率先して動き始めること。自分の興味関心や好奇心そのままに自分の周りのものに目を向け手を伸ばし触れてみて実感してはじめて心が「あそぼう！」と動き出す。のびのび心と身体が自然と動いているさまが「あそぼう！」なのです。

一方、大人の目には「あそんでいる」ように映っていても誰かに言われて行っているのであればそこに「あそぼう」はありません。皆で同時に同じことをしなければならない、あるいは（ゲームのように）大人が決めたプログラムに沿って動いているときも、それはありません。

本物のあそびを生み出す力、その秘密は「あそぼう！」にあります。そのためには「おもしろそう！」が大事と冒頭の方は言われていました。

9月。だんだんと秋に移っていく。空の色や雲の形、虫の音や咲く花、吹く風の違いなどを子どもたちと一緒に気づき楽しみ、不思議に感じる。そこにも「おもしろそう！」はいっぱい隠れていそうです。同じものをみて「なんだ、これ？」と面白がったり、笑いあったり。そんな「誰かと一緒」も「おもしろそう！」をさらに増やしてくれます。

暑かった夏もまもなく終わり。「秋」をいっばいためこんできた園庭はつくしの子どもたちが元気よく出てきてくれるのを心待ちにしています。あちらから、こちらから、たくさんの「あそぼう！」との心の声が園庭中にこだまする。そんな季節が、もうそこまで来ています。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<こどもとおとなの日曜礼拝>

毎日曜あさ10時30分～ 醍醐教会（お庭のチャペル）

どうぞご家族と一緒にお気軽にお越しください。

楽しい聖書のお話、懐かしい讃美歌